

呼吸器外科学

担当講座	呼吸器外科学講座	問合せ先	呼吸器外科学講座
分野責任者	齊藤 元 教授	連絡先	内線 6231
担当教員	齊藤 元 教授 出口 博之 特任教授 友安 信 准教授		
人材育成の 基本理念	呼吸器外科に関する高度な知識・技術を有し、基礎・臨床領域双方においても研究マインドを有する臨床医を育成する。		
主な研究内容	呼吸器外科疾患に対する手術、薬物療法、放射線治療などの集学的治療、さらには診断学、術前リスク評価、周術期管理などについて修得する。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	呼吸器外科疾患に対する診療・研究を教員とともに行う。その中で、疾患の診断、病態の把握、治療法の選択など、呼吸器外科診療に必要な高度の知識、技術、考察力を修得することで、専門的診療・研究が出来るレベルに到達する。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる。	ベーシックセミナー	
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論	
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(4)解析結果ををまとめ、発表できる(英文が望ましい)。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー	
	(7)呼吸器外科手術を通して、標準的な呼吸器外科手術法および安全対策を説明できる。	呼吸器外科学 1,2,3,4	
	(8)術前における周術期リスク評価、および術後合併症における適切な対処法を説明できる。	呼吸器外科学 1,2,3,4,5	
	(9)術前・術後放射線化学療法、各種薬物療法など最新の集学的治療、さらには再発時治療をエビデンスを背景に評価し説明できる。	呼吸器外科学 5	
(10)終末期医療・緩和医療を理解し、適切な対処を評価できる。	呼吸器外科学 5		
資格取得等	日本外科学会専門医制度 外科専門医, 呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医		
履修に関する 情報	入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論(2単位)」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。 問合せ先:呼吸器外科学講座・内線 6231		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特 論	1～4年	実習 呼吸器外科学1	通年	90	6	20単位	※20単位以上の取得可
		実習 呼吸器外科学2	通年	90	6		
		実習 呼吸器外科学3	通年	90	6		
		実習 呼吸器外科学4	通年	90	6		
		実習 呼吸器外科学5	通年	45	3		
特 別 研 究	2年	特別研究Ⅰ(初期審査)	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
	3年	特別研究Ⅱ(中間審査)	通年	8	1		
	4年	特別研究Ⅲ(論文作成)	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

呼吸器外科学

コード	MD15141010				MD15141020				MD15141030				MD15141040			
科目	呼吸器外科学1				呼吸器外科学2				呼吸器外科学3				呼吸器外科学4			
科目責任者	齊藤元				齊藤元				齊藤元				齊藤元			
担当者	齊藤元 出口博之、友安信				齊藤元 出口博之、友安信				齊藤元 出口博之、友安信				齊藤元 出口博之、友安信			
会場	中央手術室				中央手術室				中央手術室				中央手術室			
区分等	区分	実習	単位	6	区分	実習	単位	6	区分	実習	単位	6	区分	実習	単位	6
	回数	通年90コマ	配当年次	1~4	回数	通年90コマ	配当年次	1~4	回数	通年90コマ	配当年次	1~4	回数	通年90コマ	配当年次	1~4
主な授業内容	呼吸器外科手術（主に原発性肺がん）				呼吸器外科手術 （主に転移性肺腫瘍、気胸含む良性疾患）				呼吸器外科手術（主にロボット支援手術）				呼吸器外科手術（主に縦隔疾患）			
教育成果	主に原発性肺がんの標準術式、特に鏡視下手術や開胸手術のアプローチ、周術期安全対策、術後経過に関して専門的知識を修得し、臨床現場で実践できるようになる。				主に転移性肺腫瘍などの悪性腫瘍、気胸含むびまん性肺疾患などの標準術式、生検方法、周術期安全対策、術後経過に関して専門的知識を修得し、臨床現場で実践できるようになる。				主に原発性肺がんおよび縦隔疾患のロボット支援手術の実際、周術期安全対策、術後経過に関して専門的知識を修得し、臨床現場で実践できるようになる。				主に縦隔疾患の標準術式、鏡視下手術や開胸手術のアプローチの適応、周術期安全対策、術後経過に関して専門的知識を修得し、臨床現場で実践できるようになる。			
SBO	分野の達成目標 (7) (8)				分野の達成目標 (7) (8)				分野の達成目標 (7) (8)				分野の達成目標 (7) (8)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。															
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書	「呼吸器外科手術書」金方堂 「呼吸器外科学」南山堂															

コード	MD15141050				MD15149010				MD15149020				MD15149030			
科目	呼吸器外科学5				特別研究Ⅰ				特別研究Ⅱ				特別研究Ⅲ			
科目責任者	齊藤元				各(正)指導教員				各(正)指導教員				各(正)指導教員			
担当者	齊藤元 出口博之、友安信				各指導教員				各指導教員				各指導教員			
会場	附属病院カンファランス室または医局				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定			
区分等	区分	実習	単位	3	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	2
	回数	通年45コマ	配当年次	1~4	回数	通年8コマ	配当年次	2	回数	通年8コマ	配当年次	3	回数	通年15コマ	配当年次	4
主な授業内容	呼吸器外科疾患全般の病態、診断と治療				・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査の準備				・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備				・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備			
教育成果	呼吸器外科術前・術後討論会に参加し、周術期リスク評価、術後合併症における適切な対処法、標準的治療に関して専門的知識を修得し、適切な治療方針についてプレゼンテーションができるようになる。				生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <初期審査> 2 年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 3 年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成> 学位申請までに実施。論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。			
SBO	分野の達成目標 (8) (9) (10)				分野の達成目標 (3) (4) (5) (6)				分野の達成目標 (3) (4) (5) (6)				分野の達成目標 (3) (4) (5) (6)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。			
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。				「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。											
講義日程	時間割参照															
教科書参考書	「呼吸器外科学」南山堂															

●時間割

呼吸器外科学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20			呼吸器外科学 5	呼吸器外科学 5		共通教育科目
2 限	10:30~12:00	呼吸器外科学 1	呼吸器外科学 2		呼吸器外科学 3	呼吸器外科学 4	
3 限	13:00~14:30	呼吸器外科学 1	呼吸器外科学 2	呼吸器外科学 5	呼吸器外科学 3	呼吸器外科学 4	
4 限	14:40~16:10	呼吸器外科学 1	呼吸器外科学 2		呼吸器外科学 3	呼吸器外科学 4	
5 限	18:00~19:30	特別研究 I~III	特別研究 I~III		特別研究 I~III		
6 限	19:40~21:10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20			呼吸器外科学 5	呼吸器外科学 5		共通教育科目
2 限	10:30~12:00	呼吸器外科学 1	呼吸器外科学 2		呼吸器外科学 3	呼吸器外科学 4	
3 限	13:00~14:30	呼吸器外科学 1	呼吸器外科学 2	呼吸器外科学 5	呼吸器外科学 3	呼吸器外科学 4	
4 限	14:40~16:10	呼吸器外科学 1	呼吸器外科学 2		呼吸器外科学 3	呼吸器外科学 4	
5 限	18:00~19:30	特別研究 I~III	特別研究 I~III		特別研究 I~III		
6 限	19:40~21:10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						